



2023年7月25日

各位

会社名 株式会社 エプコ  
 代表者名 代表取締役グループ CEO 岩崎 辰之  
 (コード番号 2311 東証プライム市場)  
 問合せ先 代表取締役 CFO 吉原 信一郎  
 (TEL. 03-6853-9165)

2023年6月度 月次業績に関するお知らせ

当社は、2023年6月度の月次業績につきまして、下記のとおりお知らせいたします。  
 なお、業績数値は速報値であるため、以後修正される場合があります。

記

■ 2023年6月度の月次業績（経常利益）

(単位：百万円)

	6月度			期初来累計				
	前期	今期	前年比	前期	今期	前年比		
連結経常利益	25	33	132%	84	79	94%		
(参考) セグメント別経常利益								
成長事業	再エネサービス	9	11	117%	35	37	105%	
	日本市場	TEPCO ホームテック	6	14	210%	5	90	1,512%
		ENE's	3	0	22%	17	8	47%
		MEDX	-2	-2	-	-7	-16	-
	中国市場	LESSO EPCO	2	-0	-	19	-44	-
ベース事業 (住宅BPO)	メンテナンスサービス		20	13	67%	117	110	94%
	設計サービス		15	46	303%	97	131	135%

(注1) 本資料の数値については監査法人の監査を受けておりません。

(注2) 2023年度の開示より、当社グループの事業内容をより適切に表示する観点から、「省エネサービス」セグメントの名称を「再エネサービス」に変更しております。

(注3) LESSO EPCOには、班皓艾博科新能源設計(深圳)有限公司及び広東聯塑艾博科住宅設備設計服務有限公司の業績数値が含まれております。

(注4) 連結経常利益数値には、セグメント別経常利益のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外損益(持分法投資損益を除く)が含まれております。

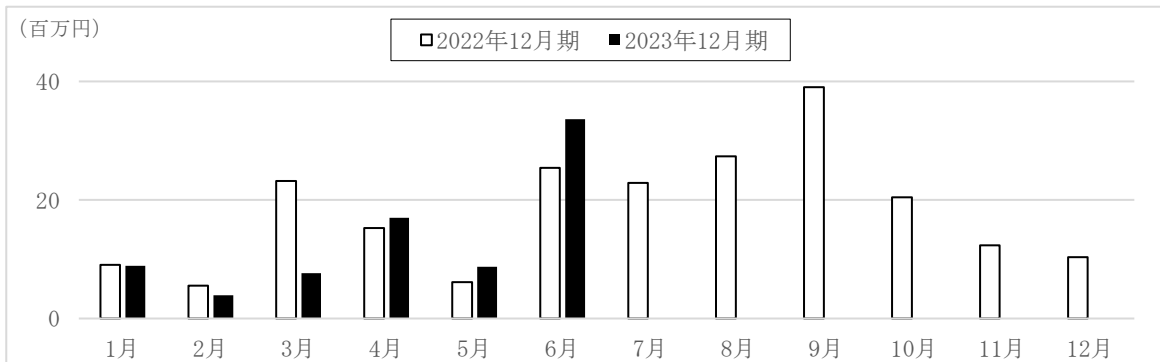
以上

■ (参考情報) 各事業の業績推移

【連結経常利益】

(単位：百万円)

	2023年12月期 (2023年1月1日～2023年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	8	3	7	16	8	33							79
前年同月比	99%	71%	33%	111%	142%	132%							94%

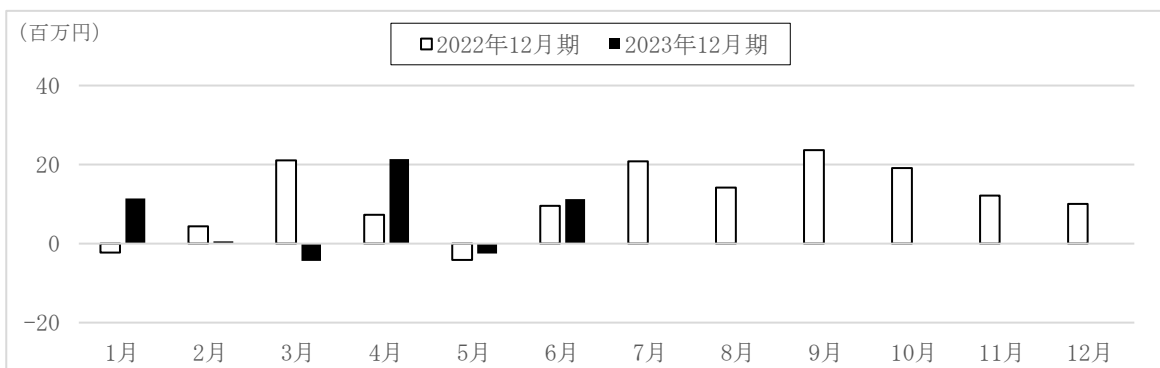


当月の連結経常利益は、33百万円（前年同月比132%）となりました。  
 増益の主たる要因は、設計サービスの利益が大幅に増加したことによるものです。  
 連結経常利益は、当第2四半期（4～6月）より増益基調に転換しております。

【再エネサービス】

(単位：百万円)

	2023年12月期 (2023年1月1日～2023年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	11	0	-4	21	-2	11							37
前年同月比	-	13%	-	293%	-	117%							105%

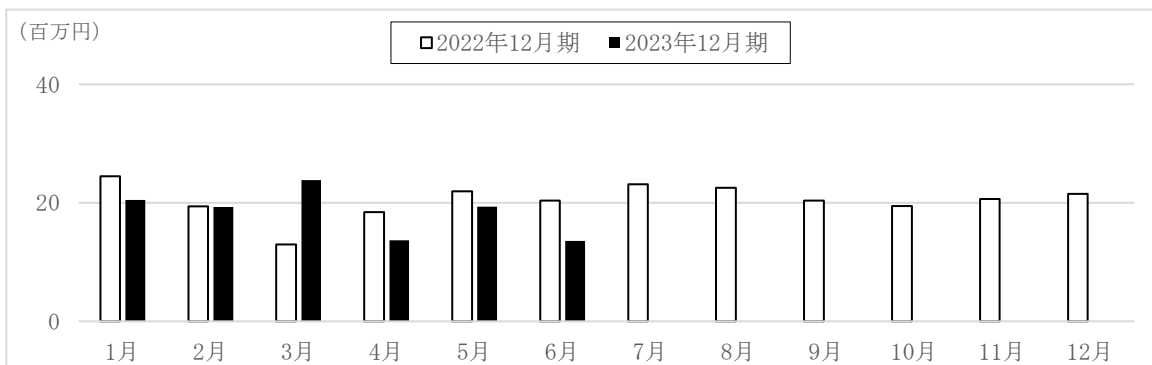


当月の再エネサービス経常利益は、11百万円（前年同月比117%）となりました。  
 増益の主たる要因は、TEPCOホームテック社の持分法投資損益が増加していることによるものです。  
 大手分譲住宅・不動産会社からの新築住宅向けエネカサービス受注増加により、P.4に記載のとおり増益で推移しております。  
 一方で、中国市場におけるLESSO社との合弁会社に関する持分法投資損益については、太陽光発電事業の立ち上げに関する費用(人件費及び設計免許取得費用)が発生していることから赤字で推移しておりますが、足元ではLESSO社からの設計業務のトライアルが既に始まっており、当第4四半期（10～12月）以降に設計図面の納品を通じて売上・利益が増加することで、損益が改善する見通しです。

【メンテナンスサービス】

(単位：百万円)

	2023年12月期 (2023年1月1日～2023年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	20	19	23	13	19	13							110
前年同月比	84%	99%	184%	74%	88%	67%							94%

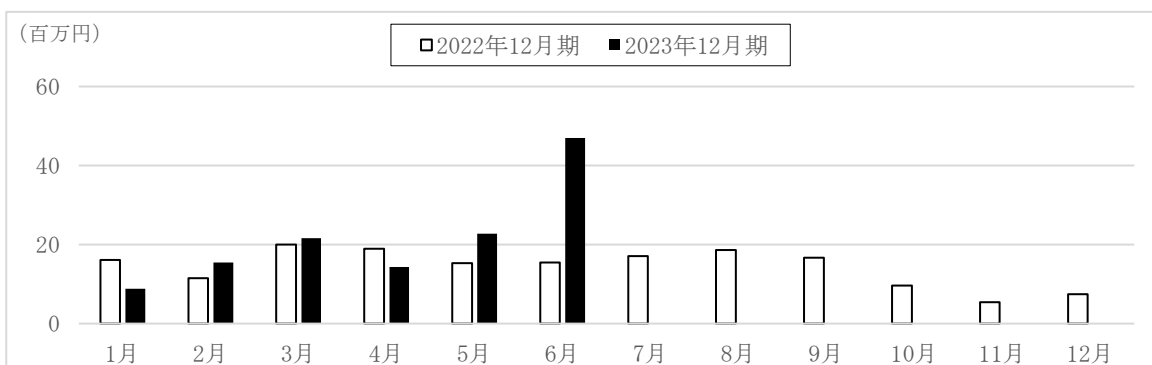


当月のメンテナンスサービス経常利益は、13百万円（前年同月比67%）となりました。減益の主たる要因は、TEPCOホームテック社をはじめとするエネルギー系企業の受託が増加傾向にある中、今後の受託増加に備えて先行的に人員を増員し、教育費用を増加させていることによるものです。下半期にエネルギー系企業に対する受託（売上）を拡大することで、増益転換を図ってまいります。

【設計サービス】

(単位：百万円)

	2023年12月期 (2023年1月1日～2023年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
経常利益	8	15	20	16	22	46							131
前年同月比	55%	135%	104%	88%	149%	303%							135%



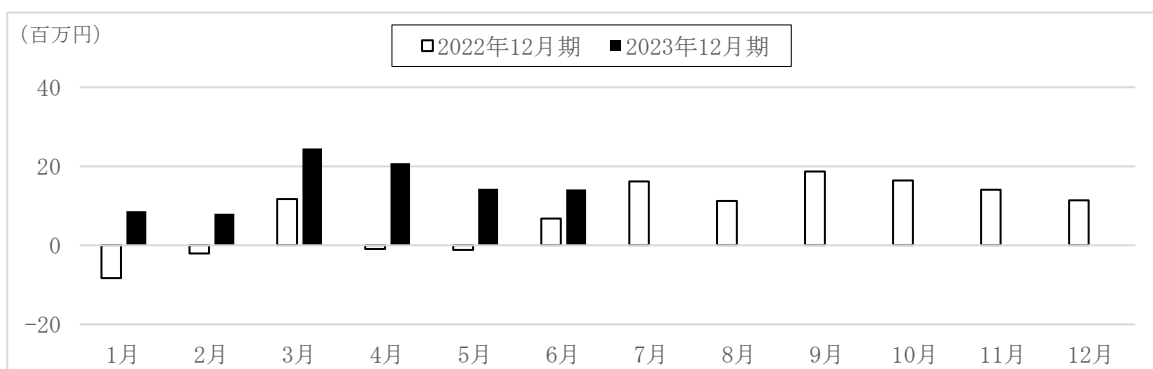
当月の設計サービス経常利益は、46百万円（前年同月比303%）となりました。増益の主たる要因は、旧エプコ深圳の合弁会社化による中国設計費用の削減が進んだこと、そして、設計ソフトウェアに関するシステム受託開発により一時的な利益（12百万円）が計上されたこと、が挙げられます。昨年より、日本及び中国（深圳・吉林）の設計体制の見直しを進めており、設計費用の削減効果は今後も発現する見通しです。

■ (参考情報) 主な関連会社の業績推移

【TEPCO ホームテック】(東京電力エナジーパートナー株式会社との合弁会社)

(持分法投資損益、単位：百万円)

	2023年12月期 (2023年1月1日～2023年12月31日)												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
持分法損益	8	7	24	20	14	14							90
前年同月比	-	-	210%	-	-	210%							1512%



以上